

事務事業評価シート 令和 1 年度事後評価・決算

令和 3 年 2 月 22 日時点

事務事業名		39300	地域子ども教室事業	予算科目	会計	款	項	目	担当班	社会教育班
施策体系	基本施策	14	青少年の健全育成	根拠法令	一般	10	4	1	事業種別	☒ 主な事業（重点施策） 重2
	施策の展開	28	青少年の健全育成の推進	戦略事業	140	地域子ども教室事業				☐ 国土強靱化地域計画
	施策の展開			戦略事業						☐ 新市建設計画
										☒ 定住自立圏構想
										☐ 主要事業

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間		② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない	
☒ 単年度繰返	☐ 平成 ☐ 年度～	・小学校3年生から6年生までを対象に、平日は、市内15校で万華鏡、キーホルダー等の教室を開催。土日は、子ども英会話教室、子ども囲碁教室、ものづくり教室、料理教室を開催する。(教材費は参加者負担) ・講座を通して親子のふれあいや地域の方々との交流を深め、学校・家庭・地域で協力し合い、子どもたちの教育環境を充実させる。	
	☒ 開始年度不詳		
	☐ 期間限定複数年度		
	平成 ☐ 年度～ 令和 ☐ 年度まで		
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状		④ 事務事業に関する課題・環境の変化	
地域の大人の協力を得て、学校等を活用し、子供たちの活動拠点(居場所)を確保し、放課後や週末等における様々な体験活動や地域住民との交流活動を支援する。		子ども達に関わる重大事件の続発など、青少年の問題行動が深刻化しているため、学校・家庭・地域が連携を図り、教育環境を充実させる必要がある。	
		⑤ 事務事業に対する住民からの意見等	
		子どもたちが安全に安心して過ごせる子ども達の居場所づくりのため、放課後や週末等において、子どもたちのニーズに合わせて、楽しく遊びながら学べる様々な体験活動の実施を求める意見がある。	

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(1年度の決算)		単位:千円	単位	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	1年度(決算)	2年度(予算)
1.報奨金	347	講師謝金	千円	386	551	499	347	393
2.公演委託料等	1,527	公演事業随い、チラシ折込手数料、公演委託料	千円	2,725	1,469	1,522	1,527	1,547
3.諸借上料	168	DVD借上料	千円	190	192	91	168	220
② 特定財源の内訳(1年度の決算)		単位:千円	事業費計 (A)					
1.国庫支出金			千円	3,301	2,212	2,112	2,042	2,160
2.都道府県支出金			千円	819				
3.地方債			千円					
4.その他			千円					1,320
前年度増減理由		報償人数の減、DVD借上げによる増。	5.一般財源					
			千円	2,482	2,212	2,112	2,042	840

従事職員数 常時 4 人 最大 6 人 × 15 日 = 延べ 90 人

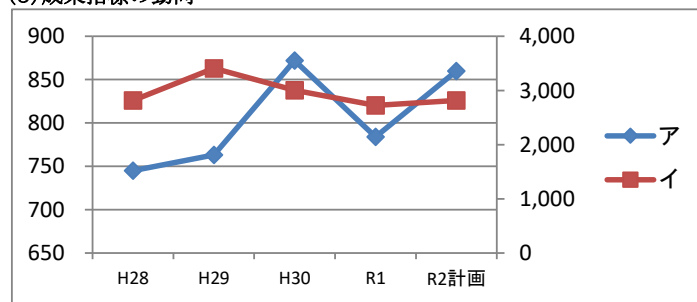
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(計画)
	1年度実績(1年度に行った主な活動) ①「子ども教室」は、平日放課後にキーホルダー、ポップアップカード、万華鏡づくりの教室を開催した。 ②「子ども向け講座」は、週末公民館等で英会話、囲碁、料理、書道、折り紙等の教室やミュージカルや映画鑑賞会を開催した。	ア 地域子ども教室の開催回数	回	31	37	42	36	40
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	イ 地域子ども教室子ども向け講座の開催回数	回	70	69	78	92	92
	対象意図 旭市内の子ども(小学校3年生～6年生) ※囲碁教室のみ2年生～6年生 充実した放課後を過ごし、異学年交流を通じて人間性・社会性を育む。 対象意図 旭市内の未就学児・小学生 親子のふれあい・地域間交流	④ 成果指標名	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(計画)
		ア 地域子ども教室への参加人数(延べ人数)	人	745	763	872	784	860
		イ 地域子ども教室子ども向け講座への参加人数(延べ人数)	人	2,816	3,409	3,006	2,724	2,816

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		② コスト削減優先度評価結果	
施策貢献度	成果向上余地	評価結果	コスト比率
	かなりある		下位 1/3
大きい		①	
普通	②	②	
小さい		③	
		④⑤	(5)
		⑥	
		⑦⑧	
		⑨	

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	☐ 完了 ☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難				
	【コメント】(停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)					
	② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	数値増＝成果向上	数値減＝成果向上	数値増＝成果向上
	【コメント】(低下の場合、その理由)					
③ 今年度取組事項(2年度に取り組む主な事項について記載)	時期	内容		今後の方向性	比較	27年度
	①R2.7月～	①「子ども教室」の「万華鏡」づくりを「アクアキャッチャー」づくりに変更する。		☐ 拡大 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 廃止・休止	28年度
				令和2年度	参加状況を注視し、企画内容を決定し、地域子ども教室・子供向け講座を継続して実施する。	29年度
						30年度
						1年度
						2計画